



2005 ~ 2006 年度
R I テーマ

SERVICE Above Self 超我の奉仕

超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール ヴィルヘルム ステンハマー (国籍・スウェーデン)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	吉富今男	役員	会長	平野英壽	SAA	河村貴雄
"	溝部 仁	"	薬真寺章三		副会長	上妻 浩	直前会長	森 宗明
"	村津忠久				幹事	木村きぬゑ		
"	梅津ヤヨイ				会計	岩尾昭治		

VOL . 18 - 17
2005 年 11 月 8 日

第 797 回 例会

会報委員長 大島由美子

点 鐘 12:30
体 操 自律神経強化体操
R S 別府中央 R.C. の歌
唱 歌 通りゃんせ
B.G.M オークストラで綴る日本の流行歌」より
こんにちは赤ちゃん
いつでも夢を
下町の太陽 他
ゲスト 柳田 敏之 (別府税務署署長)
ビジター 阿部喜兵衛 (津 R.C.)
浦松 傳 (別府北 R.C.)

出席報告 委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	26 名	
	出 席 者	20 名	
	事前メイクアップ	2 名	
	理 事 会 承 認	0 名	
	出 席 免 除	0 名	
	欠 席 数	4 名	
	出 席 率	76.92 %	
	前々 回 の 訂 正	出 席 率	69.23 %
		事後メイクアップ	2 名
		理 事 会 承 認	0 名
11/1	出 席 免 除	0 名	
	修 正 出 席 率	92.31 %	

連 続 - 回
通 算 - 回 100 %

・メイクアップ

事前 桜田、小川 (別府)
事後 津末 (別府)、小川 (別府北)
欠席 木村、亀井、大島、大久保

会長の時間 会長 平野 英壽

本日は、来月の2週間目(12月13日)にあります“年次総会”について、皆さんにお話したいと思えます。

ロータリー・クラブ細則第1条「理事および役員」の選挙」第1節により、年次総会の1ヶ月前の例会に於いて、議長は会員に対し会長(次々年度)、副会長、幹事、会計および7名の理事を指名することを求めなければならないとなっております。(ここにできます“議長”とは、ロータリー・クラブ細則第3条「役員」の任務」第1節に従い、会長の私が勤めさせていただきます。

またその指名は、クラブの決定するところに従って指名委員会、または出席全会員のいずれか一方または双方によって行うことができます。当クラブは、例年指名委員会(歴代会長・幹事)により指名を行っています。今年度も例年度の通り、歴代会長・幹事のメンバーで行ってよろしいでしょうか。

.....ご承認いただきありがとうございます。

さて、今日は別府税務署署長 田敏之さんにゲストとしておこしいただいております。日頃、お聞きする事のない、本音とたてまえの部分をお聞きできればと思っております。署長も人の子だと信じておりますので。私は思うのですが、税務

署と我々、企業は相反する利害関係で結ばれているような気がします。この二者の関係があるがままに見て、あらゆる装飾をそこからはぎとて言うなら、利害の面では完全に敵同士なのです。なぜなら我々が税務署に望むところは、こんなにがんばって働いたのに税をもっと安くしてよです。一方、税務署の側では、少ないかせぎの中でも多くの税をのぞむからです。

我々がもとめるのは身の安全です。増収を望む点では双方とも一致しているのですが、税務署は国の発展が第一でしょうから、しばしば双方の主張は反目しあうのでは。税を多く払えば我々の会社が危うくなりますし、税が少ないと国が危うく



なります。

まあ、ともあれ今日は柳田署長さんの楽しい話をお聞かせ願いたいと思います。

幹事報告 副幹事 近藤 賢司
ロータリー財団月間

1. 本日の卓話
『少子高齢社会と税』
別府税務署 署長 柳田敏之氏
2. 本日のゲスト

3. 社会奉仕委員会報告
やなぎた としゆき
柳田 敏之氏 (別府税務署 署長)
・11月5日(土) 8:30 ~ もみじ谷奉仕作業を陸上自衛隊曹友会の櫻村正文会長以下47名、並びにコーラス会員稲尾氏、平野工務店より柚野氏、寺西氏を含めて総勢57名にて、下枝の剪定とつる草の根切りを実施しました。ご参加いただきました会員の皆様お疲れ様でした。
参加者：後藤孝弘、亀井 孝、上妻 浩、森 宗明、中島澄人、吉富今男、村津忠久 各会員
4. 第5回定例理事・役員会報告
(平成17年11月1日(火) 13:40 ~
於：トキハ別府店例会場 10名

審議事項

- 1) 米山梅吉記念館寄付(100円募金)協力依頼の件。 *承認
- 2) 例会変更の件。 *承認
忘年会
日 時 平成17年12月20日(火) 18:30 ~
場 所 竹の井ホテル
会 費 10,000円
定款休会
・平成17年12月27日(火)
・平成18年1月3日(火)
新年家族会(例会前に「第7回定例理事・役員会」を開催致します。
日 時 平成18年1月10日(火) 18:30 ~
場 所 割烹旅館 ゆめさき
会 費 会員9,000円 / ご夫人5,000円 / ご家族3,000円
会費は、出欠にかかわらず全会員徴収
プレゼント交換 1,000円程度
- 3) 11月・12月・1月例会予定の確認
11月1日 ロータリー財団月間に因んで、
溝部 仁ロータリー財団委員長
8日 少子高齢社会と税、
別府税務署 署長 柳田敏之氏
15日 地区大会報告、
22日 会員卓話」森 宗明会員
*100万ドルの食事実施
29日 会員卓話」河村貴雄会員
12月6日 会員卓話」花田健治会員
13日 年次総会、
20日 忘年会」18:30 ~
於：竹の井ホテル
27日 定款第5条第1節(C)に基づき休会、

- 平成18年
1月3日 定款第5条第1節(C)に基づき休会、
10日 新年家族会」18:30 ~
於：割烹旅館 ゆめさき
17日 会員卓話」鳴海淳郎会員
24日 会員卓話」小川雅代会員
31日 クラブフォーラム、

- 4) その他
「故後藤健介氏の一周年忌記念植樹祭・偲ぶ会」
のお願い。*保留
5. お祝い
結婚記念日 溝部 仁会員(11月10日)
*ご自宅にお花が届きます。

6. 例会変更のお知らせ
大分キャピタルRC 11月16日(第3水)の例会は、
年忘れ例会の為 同日18:30 ~
ふく亭本店に場所変更
杵築RC 11月17日(木)の例会は、
姉妹クラブ締結の為 11月19日(土)
19:00 ~ 住吉浜リゾートに日時
・場所変更
大分臨海RC 11月31日(第3月)の例会は、
新会員歓迎例会の為 同日18:30
~大分全日空ホテルオアシスタワ
ー21階「エトワール」に変更
大分1985RC 11月21日(月)の例会は、
職場訪問例会の為 同日12:30 ~ホ
テルサンバリアアネックスに場所
変更
別府RC 11月25日(金)の例会は、
シニアとの夕べの為 同日18:30 ~
ホテルはまゆうに時間・場所変更
佐伯RC 11月30日(水)の例会は、
第5分区分ソフトボール大会の為11月
27日(日)佐伯総合グラウンドに
開催日・場所変更

7. 次週の予定
地区大会報告、
8. 本日の回覧
くにしきRC 週報
職業活動表彰：掲載記事、
大分合同新聞(朝刊)11月4日(金)
9. 本日の配布
週報796号
「世界インターアクト週間
World Interact Week)にあたって、
鳴海淳郎R情報委員長

スマイルボックス 委員長 梅津ヤヨイ

平野会長
柳田署長様、今日はようこそ。楽しい話を楽しみにしています。
又、津R.C.クラブよりおこしの安部様、遠い所をようこそ。別府を楽しんで、又、次の目的地までお気をつけて。
上妻会員
柳田敏之署長さん、本日の卓話有難うございます。よろしく願います。
岩尾会員
11月11日より始まります「税を知る週間、



に柳田別府税務署長さんに卓話をお願いしました。タイトルは「少子高齢社会と税」という内容だそうです。署長さん、よろしくお祈りします。
溝部会員

60周年記念に際して花輪をいただきました。誠にありがとうございました。

村津会員

晴天、気温19、そよ風、最高のお元気に恵まれて「もみじ谷奉仕作業」は、5日土曜日、楽しく終了しました。詳しくは委員会報告で述べた通りです。参加されたみなさんを始め、全てに感謝してスマイル。

河村会員

柳田署長さんには別府税務署の総務課長さんの頃よりお世話になっております。お見かけどおり温厚でとても人物な署長さんです。本日の卓話よろしくお祈りします。

吉富会員

別府税務署長の柳田敏之様、本日の卓話よろしく御願い致します。

近藤会員

先週、豊肥線に乗り車窓を眺めながら心豊かな気持ちで熊本に出張しました。市内もチンチン電車に乗り込み、いつもの気ぜわしい出張と違う気分ひたっていました。突然「お父さん」と小さな電車の中一杯に響きわたるような声にビックリして顔を上げると、福岡から出張でやってきたという私の愛娘でした。あまりにも偶然なことだったので、家内に電話をかけましたところ車掌から携帯電話は止めて下さいと怒られてしまいました。

土谷会員

久々の例会出席です。大喜びしています。溝部先生、60周年おめでとうございました。村津さん、もみじ谷出席できまして申し訳ありません。

高宮会員

お陰様で11月6日で(株)ティエフシーは25周年を迎える事が出来ました。大幅に若返り、ますます元気印として成長していきます。

後藤(孝)会員

溝部先生、創立60周年おめでとうございました。講演会の講話、とってもよかったです。介護、家族、人生について考えさせられました。スマイルします。

衛藤会員

立冬の声を聞いたら少し冷え込んできましたね。今日、柳田署長様のお話しをお聞きして少しえらくなって帰ります。

津市からお越しの安部様、御遠方をようこそ。どうぞごゆっくりなさって下さいませ。浦松様もどうぞごゆっくり。

赤嶺会員

今日は沢山のゲストの皆様、ようこそおいで下さり誠にありがとうございます。先日の当店のチャリティーイベントでは皆様に沢山のご寄附を頂き、無事に終える事が出来、本当にありがとうございました。感謝の限りです。そして又、もみじ谷清掃大変ご苦勞様でした。伺えなくてすみませんでした。溝部学園60周年の「橋幸夫」さんの講演は大変素晴らしいものでした。

ありがとうございます。全てに感謝してスマイル。
小川会員

本日所用にて休会します。

このたび私共、竹の井ホテルが生まれ変わりました。お客様ひとりひとりとの出会い、ご縁を大切につづり結ぶ「ゆわいの宿 竹乃井」としてあらたなスタートを切ります。よろしくお祈り致します。

木村会員

もみじ谷、行けなくてすみません。おわびにスマイル。

梅津会員

先日の「もみじ谷」奉仕作業はお天気に恵まれてお疲れ様でした。私は溝部学園60周年式典に出席させていただきました。

本日は柳田別府税務署長さん、卓話よろしくお祈り致します。毎年「税の知る週間」にはチラシくぱりをいたしています。又、本日遠くからヨットで御来場のロータリアンの会員様、ようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。

委員会報告 社会奉仕委員長 村津 忠久

11月5日(土)の「別府もみじ谷奉仕作業」は、晴天に恵まれ、予定通り実施された。

ロープウェイレストハウス前に集合、8:25より参加者全員で準備体操。

作業開始式では、先ず、櫻村曹友会会長の挨拶、次いで上妻副会長が挨拶、私が本日の作業要領を説明の後、もみじ谷の現場に移動。

参加者は、後藤(孝)・亀井・上妻・森・中島・吉富・村津各会員と、平野会長の社員・柚野・寺西の両氏、コーラスメンバーの稲尾氏、陸上自衛隊曹友会(櫻村会長以下47名)の計57名。

曹友会の皆さんは草刈り、R.C.会員は下枝の剪定と幼小苗木の保護作業を実施し、午前11時に奉仕作業を終了、参加者全員で唱歌「紅葉」を高唱した。

実施した作業の成果はもとより、来年以降新たに「伐採作業開始」の展望が開けた意義が大きい。感謝。

卓話 別府税務署長 柳田 敏之 氏

「少子高齢社会と税」

はじめに、

皆さんこんにちは。

ただいま御紹介いただきました、別府税務署長の柳田でございます。

今年7月の異動で熊本国税局から参りました。別府税務署勤務は11年ぶりですが、前は平成5、6年の2年間総務課長として勤務しました。今回着任しまして、地球の息吹が特に感じられる別府税務署に3回も勤務できたことを喜んでおり、懐かしさを通り越し、ホッとした感じがしました。

「税を考える週間について、

さて、国税庁では毎年11月11日から11月17日までを「税を考える週間」として、国民の皆様は税の重要性や今後のあり方について考えていただくとともに、一人でも多くの方に税務行政に対す



る理解を深めていただけるよう、各種の広報施策をおこなっております。このような時期に、別府中央ロータリークラブの皆様方には貴重な時間をいただき、卓話の機会を設けていただいたこと大変感謝しております。

この時間、私の話により少しでも税に対する理解を深めていただけたら幸いです。

なお、本日はお配りした「税のはなしをしよう」を参考に、本年度の「税を考える週間」のテーマである「少子高齢社会と税」について話をさせていただきます。

「少子高齢化について」

我が国は、歴史的な転機ともいえるべき構造変化に直面していると言われております。少子・高齢化が世界に類を見ないスピードで進行しており、このため、我が国の人口増加はおそらく今年がピークとなり、来年以降は人口減少に転ずることが見込まれています。出生率の低下により、現在1億2千万人を越える人口が、100年後には半分以上にまで減少するとさえ言われています。

少子化の進行とともに高齢化も同時に進行し、20年後には国民の3人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みで、今世紀の日本は「人口減少社会・超高齢化社会」を迎えることとなります。

「人口減少社会」は、その進展とともに労働力人口の減少と家計貯蓄率の低下を招き、「超高齢化社会」は社会保障給付の増加を招きます。量的拡大によるいわゆる「右肩上がり経済」が望めないにも係らず、年金支給額等を含む社会保障給付費は、現在の86兆円から、20年後には倍近い152兆円に達する見通しで、将来世代の負担が過重になるとともに、財政が一層深刻な状況に陥るおそれがあります。

また、家族のあり方や会社と個人との関係も急速に変容しつつあり、「日本型雇用のゆらぎや働き方の多様化」、「家族のかたちの多様化」が進行していると言われ、さらには、情報化の進展を背景に、国際的な投資交流や国境を越えた人の動きが活発化し、国境を越えた経済活動のグローバル化も進展するなど、社会情勢も目まぐるしく変化しています。

このような社会情勢の変化の中で、国民の皆様将来にわたる安心をもたらすには、持続可能な社会保障制度と財政構造の構築が必要になってくると思われまます。

「国の財政について」

このような経済社会における我が国の財政状態を見てみますと、このままでは非常に危機的な状態になると言われています。

一般会計における状況では、平成17年度予算で歳入総額82兆円ですが、税収で賄われているのは5割程度の44兆円に過ぎず、4割程度は国の借金である公債金収入に依存しています。税収は、バブル崩壊による景気の低迷や累次にわたる景気対策のための減税によりかなり減少してきており、財政赤字の穴埋めとして公債の発行が増加している状況です。公債残高は年々増加の一途をたどり、平成17年度末には税収の12年分にも当たる538兆円に達する見込みで、対GDP比で見て先進諸国中最悪の水準となっています。更には高齢化の進展による社会保障費の増加が見込まれ

ており、このままではますます財政赤字と累積債務が増大していくこととなります。

財政赤字と累積赤字の増大は、中長期的な経済成長の阻害要因となり、更なる財政赤字の拡大につながることから、これを避けるため、政府としては、まずは2010年代初頭に、借入れを除く税収等の歳入から過去の借入れに対する元利払を除いた歳出を差し引いた財政収支である基礎的財政収支の黒字化を目指すこととしており、そのため、歳入歳出両面からバランスの取れた財政構造改革を進めることとしています。

「税制の現状と今後」

財政構造改革として、安定的な歳入構造を構築するためには税制の改革は必要不可欠だと言われています。これからの少子高齢化社会を支える税制というのは「元気な人々皆で支える税制」ということであり、個人所得課税の基幹税としての機能を回復することと消費税の役割を高めていくことが議論されているところです。

これまでの大きな改革としては、既に配偶者特別控除（上乗せ部分）の廃止、年金課税の見直し、相続時精算課税制度の導入、更には消費税の免税点制度の改革などが実現していますが、これは、いずれも所得、消費、資産などの多様な課税ベースに適切な負担を求めつつ、必要な公的サービスの費用を広く公平に分かち合う観点から行われているものです。

今後は、少子高齢化、グローバル化等の構造変化に対応すべく、将来にわたる安心をもたらす税制、若者から高齢者までがともに支える税制、

個人や企業の活力を引き出す税制を将来あるべき税制として、個人所得税の抜本的見直しや社会保障費の見直し等を踏まえつつ、消費税を含む税体系の抜本的見直しが行われると聞いています。

「さいごに」

少子高齢化社会は、将来という先にあるものではなく、現在進行しつつあるものです。

皆様にとっても決して人ごとではありません。財政健全化が焦眉の急とされている昨今、国民の皆様一人一人が受身ではなく、自ら税について真剣に考えていただく時期が来ています。地域社会のリーダーである皆様方におかれましては、是非、これを機会に、周囲の方々に、国の基本となる税の意義・役割についての啓蒙をお願いしたいと思います。

本日は御静聴ありがとうございました。

今後とも税務行政に御協力のほどお願い申し上げます。

会員コラム

中島 澄人

只今、別府市内に100才以上の方が27名居られますが、女性24名、男性3名です。公務員の方が定年退職されて急に老け込んでしまわれます。仕事が無く、ぶらぶらしているからでしょう。毎日の仕事に体を使い頭を働かせる事が大事だと言う事がわかります。前向きに元気に働きましょう。

次回は後藤孝弘会員です。